



NEWSLETTER

日本使える学習法の会 活動ご報告書

2008年3月1日付

第3号

子供たち、若い人たち、女性が学ぶことに喜びを見出せば、彼らは一生を通じて勉強を続けます。そして彼らの幸福はそのことにかかっているのです。

L. ロン ハバード

図書寄贈が新聞に掲載されました。

沖縄センターが沖縄県うるま市の全公立小学校と図書館に『学び方がわかる本』を寄贈、教育委員会教育長室で贈呈式が行われ、教育長に直接渡すことができました。その模様が地元有力紙の琉球新報に掲載されました。

また来場者は100円で100支援チケットを購入でき、応援したい団体にそのチケットを1枚入れると100円が寄付されます。沖縄センターはそれで8500円の寄付をいただきました。書籍販売も行い、多くの方がブースを訪れてくださいました。



学習塾と勉強の技術

千葉県のある学習塾では、一昨年、昨年と『学び方がわかる本』を20冊ずつ購入し、子どもと親に渡していました。この塾は、『学び方がわかる本』を読むことを入塾条件としていました。そして今年は30冊を購入、3年連続の採用となりました。

この塾は、勉強の技術を子供たちの学習に役立てるだけではありません。塾長は「子供が勉強につまずいた時にどうしていいかわからず不安なお母さん方が多いのです。この本のことを教えてあげることでどうすればよいかがわかり、安心されますね。」と話しました。進学塾での採用例になる嬉しいニュースです。

イベント 「第4回 NPO出会い市」に参加 ～沖縄県宜野湾市沖縄国際大学にて～

年1回行われる県内NPOを紹介するイベントで、主催は沖縄県社会福祉センターです。今年は60以上の団体がブースで活動紹介をし、来場者が楽しめるように活動にちなんだゲームや販売を行います。



埼玉センターのご紹介

埼玉センターでは一人でも多くの人に勉強の技術を知つてもらうために、ワークショップを開催したり、近隣幼稚園にコンタクトを取ったりして、英語教育を通して勉強の技術の普及を試みています。また、個人的に勉強に困難をかかえている生徒には家庭学習サポートという形で勉強の技術を使い、学習のお手伝いをしています。

英語を苦手とする人が多いことから、英語のレッスンを通して勉強の技術にリーチしてもらおうとも考え、活動しています。今はまだまだ大きな動きはありませんが、地域で私たちの活動を紹介できるところには参加をし、「使える学習法の会」の存在を知つてもらうところから始めています。埼玉センターのある市や近隣の市では、教育に力を入れています。その教育の場で勉強の技術が取り入れられるようにしたいと考えています。

更に、北海道の帯広でも勉強の技術と活動に興味をもってくださっている方がいますので、帯広でも並行して技術の普及を図っていきます。

＝＝＝NPO交流会の様子＝＝＝



交流会は地域のNPO法人、ボランティア団体が集まり開催されました。パネルディスカッションでは市外から招かれたパネリストやコーディネータなどが参加、さまざまな地域の活動を聞くことができました。他の団体とのネットワーク化のために知り合えた方もいました。これから少しずつコミュニケーションをとり、お互いの活動活性化を図ろうと思っています。

展示パネルの様子を写真に取りました。
見学に来ている様子は写真には収めていないのですが、見学に来ていたお父さん・お母さんが『学び方がわかる本』など書籍を手に取り見ていました。

そして、お話しすることができた方は「学び」についてよく話を聞いてくださいました。やはり英語に困難をかかえているという声が多く、一人でも多くの生徒を助けてあげたいと思いまし
たし、教師の方やこれから教師になる人たちとコミュニケーションが取れれば一番良いと、本当に思います。

ワークショップ・セミナー情報

2008年1月	静岡清水センター	母親講座	4回開催
	沖縄センター	ワークショップ	4回
	愛知センター	ワークショップ	1回
	長野センター	ロケーションナル	1回
2月	静岡清水センター	母親講座	4回
	愛知センター	レクチャー	1回
	沖縄センター	勉強会	1回

今後の予定

3月20日：静岡にて コミュニケーション・ワークショップ
(講師は愛知センターの山田卓博さん)

4月29日：埼玉にて 勉強の技術レクチャー

